いっしょに考える。
いっしょに行う。

境界を、越えよう

日常だったはずの風景が違った景色になる日

あたりまえが変わり始める、私たちのソーシャルワーク

街を歩いていると、誰かが一人で、同じ言葉を繰り返し喋っている。
あなたもどこかで、こんな光景を目にした事があるかもしれない。
何してるんだろ？　下手に関わらない方がいいんちゃう？　からまれたら怖いし―
黙ってそばを通り過ぎてから、ほっとする。
でもなぜだかちょっと、もやもやする。

障がい者と呼ばれるその人と、私たちの間には、こんな風に見えない線が引かれている。
同じ街に住んで、同じ街に出かけているのに、障がい者の事を知らないし、わからない。そこにある境界線。

でも、その線って誰が引いたんだろう？

本当は、私たちがその人の事を知らないだけかも。
もしかしたら、私たちがスポーツを見たり、音楽を聴くのが好きなように、その人はバスを見るのが好きなだけなのかも。
それでうれしくなって、自然に声が出ただけなのかも。
そしてもし、障がいがある人のそばに、その人がやりたい事をわかる人がいたら？
うまく伝えられない自分の気持ちをわかってくれる誰かが、そばにいたら。
もしかしたら、その人の世界はもっと広がるかもしれない。

ガイドヘルパーは、世の中にあるそんな境界線を越えて、
障がいのある人と社会を繋いだり、橋渡しができる仕事です。
障がいのある人も、私たちと同じように自分だけの広い世界を持っている。
知ろうとしなければ、境界線は引かれたままで、何も変わらない。
でももし、一歩踏み出せば、私たちの世界は、一つに繋がるかもしれない。
ガイドヘルパーって、どんな仕事？　まず、知る事から始めよう。
一緒に、境界を越えよう。

知的障害者
ガイドヘルパー
養成講座

詳細は QR コードより HP トップの
「お知らせ」をご確認ください。

ぽぽんがぽん　検索

社会福祉法人ぽぽんがぽん

ヘルパーは半歩でも後ろを歩きます。なぜなら本人が主役だからです。道に迷い、時にポスターや看板に足を止めて眺めたり、そんな機会も本人のものなんです。自分の暮らし自分が主役だと感じてもらうにはヘルパーは半歩でも後ろを歩くのが大事なんです。

「ピープルファースト・本人のことば」

町を歩くときに
わたしの前に　立たないでほしい。
わたしは　あなたに従ってしまう。
わたしの後ろにも立たないでほしい。
わたしは　一人になった気がして
困ってしまう。
だから　わたしの横にいて
対等な人間として
アドバイスしてほしい。

ガイドヘルパーって？

知的障がいのあるご本人さんにとって

暮らしには息抜きや遊びや愉しみが絶対必要ですよね？町に出て買い物したり、ご飯食べに行ったり、噂のスイーツ食べに行ったり、阪神戦見に行ったり、夏はプール行ったり、日帰り旅行に行ったり、時にはカルチャースクールや選挙に行くことなんかも。そんな余暇活動や社会参加のサポートをします。

人にとって　町にとって　社会にとって

人が変わります。社会が変わります。障がいのある方と関わったことのない方々には避けられます。逃げられます。知らないことが怖いから、怖いものは遠ざけようとしてしまいます。出会うことで、ヘルパーがつなぐことで知ってもらえます。知ると人は変わります。偏見がなくなっていきます。私たち支援者も、お店の人も変わります。人が変わると社会が変わります。社会を変えていける仕事です

ぽぽんがぽんでは・・・

●時間帯や曜日は？

平日の夕方(17:00～22:00)
土日の日中(10:00～22:00)
で、1回2時間～8時間程度を希望される利用者さんが多いです。

●行先は？

買い物・外食・散歩・カラオケ・銭湯・プール・カルチャースクールや時には日帰り旅行なんかにも。

●給与は？

時給 1，320円～
（処遇改善一時金含む）

※週1回、短時間の勤務でも歓迎です。学生さんなら将来のお仕事や、学校の実習のための勉強・経験にもなります！自分のこと社会のことたくさん気付きが得られますよ。